

木津川市まち・ひと・しごと創生推進委員会

1. 前回委員会における主な意見

2. 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る
ワークショップについて

＜前回委員会における主な意見＞

【戦略の柱について】

○現行の「総合戦略」の【柱】【スローガン】【姿勢】は維持させる。

○戦略の【柱】は「子育て」であるが、子どもや子育て世帯を対象にするのではなく、まち全体を活性化させることにより子育てしやすいまちに繋がっていくことが必要である。

○戦略の【柱】が「子育て」となっており、「木津川市らしさ」が出ているのではないかと思う。

○「木津川市の子育て施策に魅力を感じて転入してきた」という声も聞く、「子育て」を【柱】【スローガン】に掲げるのは、人口増加にも繋がると思う。

【戦略の施策について】

- 市「総合戦略」は、国「総合戦略」を勘案して作成するとのことであるが、市独自の課題についても視点に入れるべきである。
- 人口減少地域に対しても対応できる戦略にしてもらいたい。
- 高齢者等の社会的弱者に対する課題、災害発生時における課題等考えていかなければならない課題は多い、「自助」「共助」についても考えていかなければならない。
- 「市」という単位だけではなく、地域毎に課題解決をしていくことが必要だと思う。

<木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る ワークショップについて>

【開催概要】

- 日 時：令和元年12月20日（金）14時～16時30分
- 場 所：木津川市役所北別館1階 会議室1
- 対象者：ふるさと応援事業補助金採択10団体 13名
- テーマ：子育て・団体活動

ふるさと応援事業補助金採択10団体13名が2班に分かれ、意見交換・ワークショップを行った。

各団体が考える団体活動の主な課題

- 団体間の「つながり」づくり
- 活動を始めたい人との「つながり」づくり
- 活動を継続させるための人材確保と育成
- 市等からの補助金を活用して「利益」を生み、活動を継続できる体制づくり
- 活動の「情報発信力」の強化やまちづくりの情報共有
- 小学校等との連携した活動

課題に対する主な意見

- 個々の団体の活動では限界がある、活動の幅を広げるためにも団体間の「つながり」が必要だと思う。
- 団体間の協力があれば、さらに活発な活動も可能になると思う。
- これから活動を始めたいと思っている人にもアドバイスできる体制があればよいと思う。
- 団体活動において若い人の力が必要である、SNS等を利用して若い人にも届く情報発信が必要と思う。
- 市や市以外の補助金についても情報が集約されていれば活用しやすい。
- 一時的な補助金に頼っていては運営が続かない、資金を生む方法を考える必要がある。